

マルクス・シルマー Markus Schirmer (ピアニスト)

シルマーはオーストリア南東部の中心都市グラーツで生まれた。R.ケーラー、K-H.ケマーリング、P.B.-スコダやB.ヴォルフに師事した。

彼はこれまで数々の受賞と栄誉を勝ちとり、また著名なコンサートホールやフェスティバルで聴衆を魅了してきた。その中にはウィーン・ムジークフェライン・ザール、ウィーン・コンツェルトハウス・ザール、ミュンヘン・ヘラクレス・ザール、ベルリン・フィルハルモニー、サントリー・ホール、ロンドン・ウィグモア・ホール、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、ベルリン・コンツェルトハウス、アテネ・メガロン、ヘルシンキ・フィンランディア・ホール、ジュネーブ・ヴィクトリア・ホール等、また国際ピアノ・フェスティバル「ラ・ロック・ダンテロン」、ラインガウ音楽祭、ブレゲンツ音楽祭、ルール・ピアノ・フェスティヴァル、ルツェルン音楽祭等がある。

これまで、V.ゲルギエフ、Lord Y.メニューイン、Sir.N.マリナー、Sir.C.マッケラス、F.ルイーゼ、M.ギーレン等の指揮者と共に、ウィーン・フィル、ウィーン響、ウィーン放送響、ミュンヘン・フィル、スイス・ロマンド管、チェコ・フィル、マリンスキー劇場管、イギリス室内管、東京交響楽団等と共演している。

室内楽活動にも重点を置き、J.ラクリン、R.キャブソン、石坂団十郎、アルティス・カルテットなどと共演している。

またクラシック音楽というジャンルにとらわれない活動もしている。アメリカ人歌手ヘレン・シュナイダーとのコラボレーションも話題になり高い評価を受けた。

彼はシューベルトのソナタを収録したデビューCDで“ドイツ・レコード批評家賞”を受賞し、またガエーデ・トリオとのモーツァルトのピアノ四重奏曲(ハイドンとベートーヴェンも含む)と最新のCD“Pictures&Reflections”もまた素晴らしい賛辞を受けている。これらの活躍に対し、最近“カール・ベーム演奏家賞”を受賞している。

今後、ドイツ、スイス、イギリス、オランダの欧州各国、中国、アメリカでの音楽祭やコンサートに出演予定である、その中のひとつにはマキシム・ヴェンゲーロフとロッテルダム・フィルやドレスデン・シュターツカペレとの共演、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、バート・キッシンゲン音楽祭、バーデン・バーデンのフェストシュピールハウス、アムステルダム・コンセルトヘボウでの演奏も予定している。

彼は生まれ故郷のグラーツ音楽大学でピアノ科教授として後進の指導にあたり、またいくつかの国際ピアノ・コンクールの審査員も務めている。

www.markusschirmer.com